

サトコジファイル

Satokoji

File

福生市議会議員

佐藤こうじ

議員活動レポート



福生「生きがい都市」宣言！

令和6年3月議会での一般質問

1 加藤市政の総括について

質問 市長の初当選以来16年が経過し、市長は4月の市長選への出馬も表明しました。そこで3期目以降、コロナ禍を経ての加藤市政の総括について質問しました。

答弁 市長に就任して以来、いかにして、市政運営を持続可能ならしめるかについて、常に自問自答をし続けてきた。総合計画後期基本計画の策定にあたり15名の若手職員からなる、「持続可能なまちづくりタスクフォース」を立ち上げ次代を担う人材育成にも積極的に取り組み、市が発展、存続し続けるための道を切り拓いてきた。平成28年5月からの3期目は、「福生市人口ビジョン及び総合戦略」に基づき、全庁を挙げて定住化対策に取り組んできた。本市の人口減少の特徴である子育て世代の流出への対策を進め、保育園、学童クラブ双方での待機児童ゼロを達成。ハード面では、防災食育センターの稼働を開始し中学校給食等を実施。福生駅周辺整備では、富士見通り線整備事業、福生駅西口地区市街地再開発事業に注力。4期目は、コロナとの戦いに費やした。感染症対策の徹底に努めるなか、一人当たり10万円を迅速に給付。その後も、プレミアム付き商品券事業やシニアお買物券配布事業等に取り組んだ。更に、DXの推進を加速。セミセルフレジやキャッシュレス決済の導入、学童クラブの入所申請等のオンライン化、電子図書館の開館などデジタル技術の活用を図ってきた。福祉施策としては、令和4年度から市内3か所で地域包括支援センターの運営を開始。また学校教育では、児童・生徒への一人一台タブレット端末を配備し、教育環境の充実にも取り組んだ。先人から市政を受け継いだ者として、この大役を果たせたことは大変な難しかったと感じると同時に、お預かりした市政の襷を確実に次代に繋げていかなければならないという重責を改めて実感している。現在も、収まる気配のない物価高騰の影響により、多くの市民の皆様が苦しんでいる。私自身の手で、これらの難局を突破し、福生市の発展、存続の道を確かなものにして、市政を次代につなげてまいりたいとの決意に至った。

Satokoji Point

持続可能なまちづくりを進めるなかで、令和6年度は「こども家庭センター」「児童発達支援センター」の設置など、新たな子ども施策での展開があります。一方、高齢者が住み慣れた地域で、自立した生活をおくるための地域包括ケアシステムの構築はようやく本格的に展開していくところであり、社会福祉協議会をはじめとする様々な福祉の担い手の更なる連携が必要です。また、喫緊の課題であるDXの推進を加速するとともに、誰もがその恩恵を受けられるようにしていくことが更なる課題です。コロナ禍では、加藤市長のリーダーシップによる独自施策が展開され職員一丸となってこれを推し進めました。「自らの手で難局を突破していく」という市長の決断に大いに期待します。



詳しくはブログ「note」をご覧ください➡



4 学校給食費の全額公費負担について

質問 私が会長を務める正和会では学校給食費全額公費負担の要望書を提出していました。学校給食費の全額公費負担は学校給食法の規定を踏まえ、国の責任において対応すべきだと考えます。そこで、市の学校給食費全額負担についての考え方等について質問しました。

答弁 学校給食法第11条第2項には、学校給食費の保護者負担の原則が明記されている。そのため、本市としては、学校給食費の無償化は、自治体独自で行うべきものではなく、法律改正などがなされた上で、国の責任と財源において対応すべきという、これまでの考えに変わりはない。しかしながら、世界情勢や円安の影響などの様々な要因により、子育て世帯に多大な影響を与えている。市では、令和4年度及び令和5年度の2か年、国の交付金を活用して食材の購入に係る賄材料費の増額を実施してきたが、さらに踏み込んだ取り組みを実施すべきか、慎重に検討を重ねてきた。東京都が令和6年度から、学校給食費の保護者負担の2分の1を負担する事業を開始することが明らかになった。これを受け、学校給食費の全額を公費負担で実施することを決定した。



※他の正和会議員は公務のため欠席



Satokoji Point

学校給食費全額公費負担が始まるにあたり、児童・生徒にどのように指導するのか再質問しました。「学校給食費の全額公費負担の機会を、多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることや、食べ物を大事にする感謝の心を育む機会とすることが重要だ」との答弁でした。学校給食費の全額公費負担が「子どもたちの心の成長の機会」となるよう要望しました。

5 大谷グローブについて

質問 メジャーリーガーの大谷翔平選手が国内の小学校約2万校に約6万個のジュニア用グローブを寄贈することが発表されました。すでに福生市の各小学校にも届いたと聞いています。学校の対応等について質問しました。

答弁 大谷選手の写真入りメッセージとともに、1校につき、右利き用が2個、左利き用が1個、計3個の児童用グローブが全小学校に届いた。市の各小学校の対応だが、校長が全校朝会において、寄贈されたグローブを大谷選手の活躍とともに紹介したり、昇降口近くの廊下に特設コーナーを設けてグローブを展示したり、各教室で児童がグローブを着けるなどしたと報告を受けている。グローブの活用としては、体育の学習やクラブ活動、休み時間での自由な使用など、各小学校の児童の実態に応じて学校ごとに工夫している。例えば、独自にグローブを追加購入し、十数人がキャッチボールできるようにした学校もある。さらには東京都教育委員会から、大谷選手に届けるお礼のメッセージカードを作成するよう依頼があり、全ての小学校で作成した。大谷選手のグローブの寄贈は、社会貢献の尊さや、夢と希望をもって生きる大切さなどについて、児童が考えるきっかけとなったと捉えている。



Satokoji Point

報道等によるとグローブの活用について難儀しているようです。その様ななか、子どもたち自らグローブの使い方やルールを定め、児童全員が使えるようにと当面授業での使用を決めた学校もあるそうです。子ども達がどう感じ考えるか、そして、子どもたち自身が考え、ルールを決め、みんなで守ること、これを大人が最大限尊重すること。これは子ども達の権利の尊重、そして主権者としての基本的感覚を学ぶ大変良い機会だと考えます。全国の学校に同じように寄贈された大谷グローブですが、課題解決を通じ、福生ならではの学びがそこに生まれることが大切だと考えます。教育委員会としても、そのように学校に助言するよう要望しました。

令和6年度 一般会計予算審査特別委員会

令和6年度の予算は355億4000万円で過去最高の編成となり、全会一致で可決されました。審査では28項目33事業について質問し、最終日には会派を代表し「総括質問」をしました。

議会事務局 2事業 ●運営事務(議会事務局) ●情報提供事業(議会事務局)	企画財政部 3事業 ●企画調整事務(企画調整課) ●総合計画策定事務(企画調整課) ●積立金(財政課)	都市建設部 3事業 ●都市景観事業(まちづくり計画課) ●都市計画道路3・4・7号富士見通線整備事業(まちづくり計画課) ●市道幹線II-11号線(本町通り)無電柱化整備事業(道路下水道課)
総務部 2事業 ●人事事務(職員課) ●災害対策事業(防災危機管理課)	生活環境部 2事業 ●農業振興事業(シティ・セールス課) ●環境政策事務(環境政策課)	教育部 8事業 ●教育委員会事務(教育総務課) ●幼保小中連携事業(教育指導課) ●郷土資料室事業(生涯学習推進課) ●市宮競技場管理事務(スポーツ推進課) ●公民館本館運営事業(公民館) ●松林会館運営事業(公民館) ●白梅会館運営事業(公民館) ●利用普及援助事業(図書館)
市民部 1事業 ●窓口事務(総合窓口課)	子ども家庭部 6事業 ●子ども政策事務(子ども政策課) ●保育所運営事業(子ども育成課) ●乳幼児医療費助成事業(子ども育成課) ●義務教育就学児医療費助成事業(子ども育成課) ●高校生等医療費助成事業(子ども育成課) ●子育てひろば運営事業(こども家庭センター課)	
福祉保健部 6事業 ●児童発達支援センター事業(障害福祉課) ●社会福祉協議会費(介護福祉課) ●シルバー人材センター支援事業(介護福祉課) ●健康まつり事業(健康課) ●健康教育相談事業(健康課) ●健康診査事業(健康課)		

市民厚生委員会

令和6年度 福生市国民健康保険特別会計予算 4事業について質問、67億1262万3000円で可決。

- 後発医薬品利用差額通知事務(保険年金課) ●糖尿病性腎症重症化予防指導事業(保険年金課) ●特定健康診査等事業(健康課)

令和6年度 福生市介護保険特別会計予算 4事業について質問、54億5370万4000円で可決。

- 介護予防・生活支援サービス事業(介護保険課) 元気塾 ●一般介護予防施策事業(介護保険課) 柔道整復師筋力向上トレーニング委託料
- 地域介護予防活動支援事業(介護保険課) ●認知症総合事業(介護保険課)

令和6年度 後期高齢者医療特別会計予算 15億6694万円で可決。



佐藤こうじプロフィール

誕生～学生時代

1968年 東京都日野市生まれ。
日野市立第二小学校、日野市立第一中学校、
東京都立南多摩高校、中央大学法学部卒
小学生時代：カブト虫・クワガタや魚獲りに明け暮れる
中学生時代：卓球部所属(市や地区大会で優勝！)
高校生時代：卓球部と体操部に所属、ロックバンド結成
大学生時代：法学、政治学を学び、政治学のゼミに所属

佐藤こうじ
オフィシャルサイト



<https://www.sato-koji.com/>

佐藤こうじ
Facebookページ



市議会議員は毎日何をしているのか

職歴～現在

- 2015年 保険会社、繊維業界紙新聞記者、予備校講師、家業の建築業(型枠工事/二級建築士)を経て、**福生市議会議員に初当選**。議会運営委員会 委員、総務文教委員会 委員、議会改革に関する特別委員会 副委員長、横田基地対策特別委員会 副委員長、西多摩衛生組合議会 議員
- 2019年 **福生市議会議員に再選**。総務文教委員会 委員長、議会運営委員会 委員、横田基地対策特別委員会 委員、議会改革に関する協議会 座長代行、福生病院組合議会 副議長、市議会正和会 政調会長
- 2021年 議会運営委員会 委員長、総務文教委員会 委員、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 副委員長、瑞穂斎場組合議会 副議長、市議会正和会 総務会長
- 2023年 **福生市議会議員に3選**。市民厚生委員会 委員、議会運営委員会 委員、横田基地対策特別委員会 委員長、西多摩衛生組合議会 議長、市議会正和会 会長

- 生年月日 1968年10月28日(さそり座) 血液型 O型
- 趣味特技 カラオケ、卓球、読書(社会科学系等の本をよく読みます。漫画も好きです！)
- 政治観 地方自治は民主主義の学校である(J.プライス)
- 家族 福生生まれの妻(介護福祉士)、社会人の長男・次男、大学生の長女
- 座右の銘 処人謙然(しょじんあいぜん)「人と接するときには和やかな態度で接すること」
- 地域活動 保護司、(社)不動福祉会理事、福生社交飲食業組合相談役顧問、福生市柔道整復師会顧問、福生市防衛協会事務局長、福生市ゲートボール協会事務局長、多摩西部議員交友会会員、ふっさボランティア・市民活動センターFVAC運営委員、福生不動尊世話人、福生市本町町会顧問、市生会 理事、本町神輿保存会 世話人

[発行] 佐藤こうじ後援会 福生市本町79 [討議資料]

投票に行こう。4.28(日) 福生市長選挙

【期日前投票】4月22日(月)～4月27日(土)
福生市役所1階(郵便局側入口付近)

メディア
出演情報

FM たちかわ

『I.S.M.(イズム)生特番』

第2・4週 日曜日 16:00～18:00

番組内出演コーナー 16:00～16:25

福生市議会議員 佐藤弘治の

「市議会議員は毎日何をしているのか?」

地方議員の活動や考えを皆さんにお伝えします!



84.4
FM
エフエム
たちかわ

ご視聴方法はこちら→



心が通い 誰もが認められる 新たな時代のまちづくり

福生 生きがい都市宣言!

佐藤こうじ後援会 事務局

TEL/FAX 042-849-2196

✉ koji.sato.office@gmail.com

〒197-0022 福生市本町79